

図解 交通年鑑

(平成29年版)



鳥 取 県 警 察 本 部



用語の意味

- 1 「交通事故」とは、道路交通法第2条第1項第1号に規定する道路において、車両等及び列車の交通によって起こされた事故で、人の死傷を伴うもの(人身事故)をいう。
 - 2 「死亡」「死者」とは、交通事故の発生から24時間以内に亡くなった場合(人)をいう。
 - 3 「負傷」「負傷者」とは、交通事故によって負傷し、治療を要する場合(人)をいう。
なお、負傷の程度の判断は医師の診断に基づく。
 - 4 「第1当事者」とは、交通事故に関係した者のうち、過失が最も重い者、又は過失が同程度の場合は損傷が最も軽い者をいう。
 - 5 「高齢者」とは65歳以上の者、「若者」とは16歳以上25歳未満の者、「子ども」とは中学生以下の者をいう。
 - 6 「事故類型」とは、事故をまず当事者の種類(人または車両)によって分類し、次いで当事者の事故時の行動等によってさらに細かく分類したものをいう。
 - 7 「状態」とは、当事者の事故当時の状態(運転中、同乗中、歩行中等)をいう。
- * 構成率等については、単位未満で四捨五入しているため、合計と内計は一致しない場合がある。

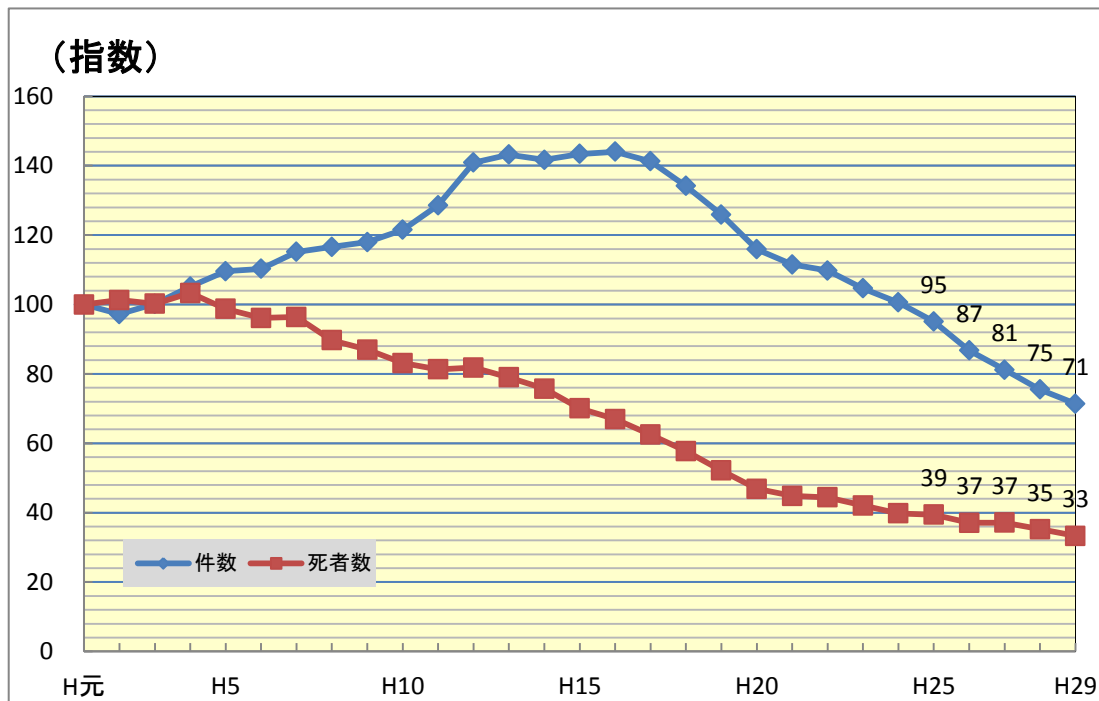
目 次

1	全国の交通事故	1
	(1) 全国の交通事故の推移	1
	(2) 都道府県別交通事故死者数	2
2	鳥取県の交通事故	3
	(1) 鳥取県の交通事故の推移	3
	(2) 市町村別発生状況及び人口1万人当たりの発生率	4
	(3) 月別発生状況	5
	(4) 曜日別発生状況	5
	(5) 時間別・昼夜別発生状況	6
	(6) 道路別発生状況	7
	(7) 事故類型別発生状況	7
	(8) 年齢層別死傷者数	8
	(9) 状態別死傷者数	8
3	子どもの交通事故	9
	(1) 子どもの交通事故の推移	9
	(2) 学齢別死傷者数	9
	(3) 状態別死傷者数	10
4	高齢者の交通事故	11
	(1) 高齢者の交通事故の推移	11
	(2) 状態別死傷者数	11
	(3) 男女別死傷者数	12
	(4) 高齢者(第1当)事故件数	12
5	歩行者の交通事故	13
	(1) 歩行者の交通事故の推移	13
	(2) 年齢層別発生件数・死傷者数	13
	(3) 事故類型別死傷者数	14
	(4) 歩行者の違反別死傷者数	14
6	自転車の交通事故	15
	(1) 自転車の交通事故の推移	15
	(2) 年齢層別死傷者数	15
	(3) 事故類型別発生件数・死傷者数	16
	(4) 自転車の違反別死傷者数	16
7	二輪車(自動二輪・原付)の交通事故	17
	(1) 二輪車の交通事故の推移	17
	(2) 年齢層別死傷者数(二輪車乗車中)	17
	(3) 事故類型別発生件数・死傷者数	18
	(4) 二輪車の違反別死傷者数	18
8	交通死亡事故発生状況	18
	(1) 年齢層別・状態別死者数	19
	(2) 第1当事者の年齢層別・状態別件数	19
	(3) 第1当事者の違反別件数	20
	(4) 路線別・道路形状別件数	20

1 全国の交通事故

(1) 全国の交通事故の推移

全国の発生件数及び負傷者数は13年連続で減少し、死者数は3,694人で昭和23年以降の統計で最少となった。



(注) 指数は、平成元年を100とする。

区分 年別	件数	死者数	負傷者数	区分 年別	件数	死者数	負傷者数
昭和47年	659,283	15,918	889,198	7	761,794	10,684	922,677
48	586,713	14,574	789,948	8	771,085	9,943	942,204
49	490,452	11,432	651,420	9	780,401	9,642	958,925
50	472,938	10,792	622,467	10	803,882	9,214	990,676
51	471,041	9,734	613,957	11	850,371	9,012	1,050,399
52	460,649	8,945	593,211	12	931,950	9,073	1,155,707
53	464,037	8,783	594,116	13	947,253	8,757	1,181,039
54	471,573	8,466	596,282	14	936,950	8,396	1,168,029
55	476,677	8,760	598,719	15	948,281	7,768	1,181,681
56	485,578	8,719	607,346	16	952,720	7,436	1,183,617
57	502,261	9,073	626,192	17	934,346	6,937	1,157,113
58	526,362	9,520	654,822	18	887,267	6,415	1,098,564
59	518,642	9,262	644,321	19	832,704	5,796	1,034,652
60	552,788	9,261	681,346	20	766,394	5,209	945,703
61	579,190	9,317	712,330	21	737,637	4,979	911,215
62	590,723	9,347	722,179	22	725,924	4,948	896,297
63	614,481	10,344	752,845	23	692,084	4,691	854,613
平成元年	661,363	11,086	814,832	24	665,157	4,438	825,392
2	643,097	11,227	790,295	25	629,033	4,388	781,492
3	662,392	11,109	810,245	26	573,842	4,113	711,374
4	695,346	11,452	844,003	27	536,899	4,117	666,023
5	724,678	10,945	878,633	28	499,201	3,904	618,853
6	729,461	10,653	881,723	29	472,165	3,694	580,847

(2) 都道府県別交通事故死者数

都道府県	死者数	人口 当り	順位	車両台数 当り	順位	免許人口 当り	順位	道路実延長 当り	順位	走行台 [※] 当り	順位	
北海道	148	2.765	37	0.361	36	0.439	36	1.637	45	0.566	42	
東北	青森	42	3.248	30	0.371	35	0.496	27	2.099	37	0.590	41
	岩手	61	4.811	8	0.518	6	0.729	5	1.826	42	0.745	26
	宮城	51	2.189	44	0.271	47	0.330	44	2.021	40	0.484	45
	秋田	30	2.970	33	0.330	43	0.444	35	1.255	46	0.425	46
	山形	38	3.414	28	0.361	36	0.495	28	2.271	34	0.510	44
福島	68	3.577	24	0.373	33	0.522	25	1.736	43	0.594	40	
東京	164	1.204	47	0.326	44	0.207	47	6.763	2	1.019	4	
関東	茨城	143	4.923	6	0.508	9	0.695	7	2.556	30	0.893	12
	栃木	95	4.832	7	0.503	10	0.679	10	3.739	15	0.848	14
	群馬	67	3.406	29	0.343	41	0.474	31	1.912	41	0.670	31
	埼玉	177	2.428	43	0.389	29	0.378	42	3.750	14	1.028	3
	千葉	154	2.470	41	0.383	31	0.383	41	3.779	13	0.954	5
	神奈川	149	1.629	46	0.317	45	0.265	46	5.804	3	1.052	2
	新潟	85	3.718	22	0.411	22	0.542	22	2.260	35	0.619	36
	山梨	37	4.458	12	0.434	16	0.624	13	3.300	19	0.854	13
	長野	79	3.784	21	0.375	32	0.532	23	1.646	44	0.688	30
	静岡	128	3.471	26	0.399	26	0.500	26	3.459	17	0.827	15
中部	富山	37	3.487	25	0.386	30	0.494	29	2.648	27	0.600	39
	石川	34	2.954	34	0.356	38	0.435	37	2.591	29	0.519	43
	福井	46	5.882	1	0.646	2	0.848	2	4.193	11	0.939	7
	岐阜	75	3.709	23	0.419	21	0.529	24	2.438	31	0.645	34
	愛知	200	2.664	39	0.356	38	0.392	40	3.967	12	0.812	18
近畿	三重	86	4.757	9	0.512	7	0.681	8	3.394	18	0.825	16
	滋賀	55	3.892	18	0.474	12	0.572	17	4.398	8	0.800	20
	京都	66	2.534	40	0.395	28	0.417	39	4.233	10	0.821	17
	大阪	150	1.698	45	0.331	42	0.294	45	7.656	1	0.936	8
	兵庫	161	2.917	36	0.454	15	0.464	33	4.399	7	0.900	10
畿	奈良	40	2.950	35	0.404	25	0.447	34	3.144	21	0.787	22
	和歌山	38	3.983	17	0.409	24	0.567	19	2.767	26	0.774	24
	鳥取	26	4.561	10	0.511	8	0.681	8	2.931	24	0.611	37
中国	島根	17	2.464	42	0.280	46	0.369	43	0.929	47	0.353	47
	岡山	97	5.065	4	0.557	4	0.747	4	3.006	23	0.952	6
	広島	91	3.208	31	0.410	23	0.488	30	3.124	22	0.775	23
	山口	79	5.667	3	0.665	1	0.856	1	4.742	5	0.927	9
四国	徳島	34	4.533	11	0.492	11	0.649	11	2.230	36	0.709	29
	香川	48	4.938	5	0.529	5	0.707	6	4.665	6	0.894	11
	愛媛	78	5.673	2	0.638	3	0.841	3	4.247	9	1.138	1
	高知	29	4.022	16	0.431	17	0.600	15	2.050	39	0.645	34
九州	福岡	139	2.723	38	0.372	34	0.422	38	3.692	16	0.805	19
	佐賀	36	4.348	13	0.474	12	0.638	12	3.276	20	0.667	32
	長崎	47	3.438	27	0.426	18	0.548	21	2.605	28	0.715	28
	熊本	73	4.115	14	0.459	14	0.613	14	2.805	25	0.794	21
	大分	44	3.793	20	0.424	20	0.568	18	2.385	33	0.610	38
	宮崎	42	3.832	19	0.399	26	0.554	20	2.084	38	0.646	33
	鹿児島	66	4.032	15	0.425	19	0.593	16	2.417	32	0.734	27
	沖縄	44	3.058	32	0.347	40	0.469	32	5.402	4	0.758	25
合計	3,694	2.910		0.403		0.449		3.022		0.778		

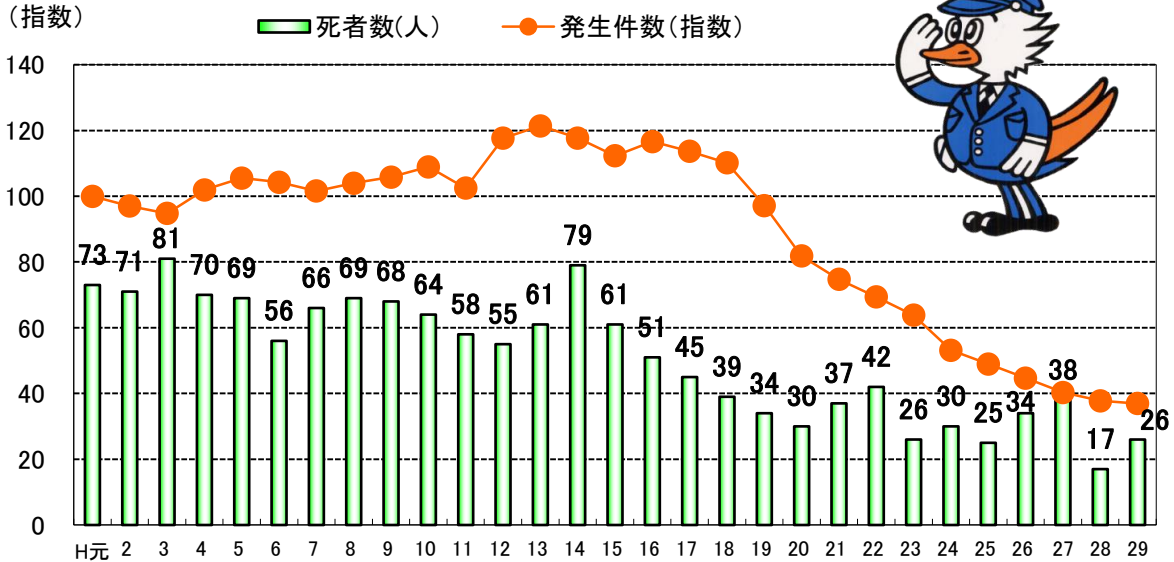
- 注1 「人口当り」は10万人当りの死者数で、算出の基礎となった人口は総務省の平成28年10月1日現在推計人口である。
- 2 「車両台数当り」は1万台当りの死者数で、算出の基礎となった車両台数は平成29年10月末現在の国土交通省資料「自動車保有車両数月報」による。
- 3 車両台数に含まれている「原付台数」「小特」（ミニカーを含む。）は平成28年4月1日現在の総務省自治税務局市町村税課資料による。
- 4 「免許人口当り」は1万人当りの死者数で、算出の基礎となった免許人口は平成29年12月末現在である。
- 5 「道路延長当り」は1000km当りの死者数で、算出の基礎となった道路延長は平成28年4月1日現在国土交通省資料「道路統計年報」による。
- 6 「走行台[※]当り」は1億走行台[※]当りの死者数で、平成22年道路交通センサスによる路線（一般道路計）の走行台[※]から算出。

2 鳥取県の交通事故

(1) 鳥取県の交通事故の推移

死者数は26人で、前年から9人増加したが、死者が最多の昭和46年(134人)と比較して81%減少した。

発生件数及び負傷者数は13年連続で減少した。



(注) 指数は、平成元年を100とする。

年別	区分	死者数	年別	区分	死者数	年別	区分	件数	死者数	負傷者数
昭和23年		27	46		134	平成6年		2,724	56	3,070
24		9	47		120	7		2,654	66	2,970
25		18	48		109	8		2,717	69	3,103
26		24	49		72	9		2,765	68	3,075
27		31	50		89	10		2,846	64	3,217
28		21	51		90	11		2,677	58	3,413
29		32	52		61	12		3,074	55	3,943
30		38	53		54	13		3,172	61	4,152
31		42	54		52	14		3,075	79	4,051
32		34	55		61	15		2,934	61	3,772
33		45	56		57	16		3,048	51	3,992
34		60	57		71	17		2,970	45	3,905
35		38	58		69	18		2,878	39	3,698
36		63	59		61	19		2,539	34	3,236
37		49	60		60	20		2,138	30	2,733
38		55	61		58	21		1,952	37	2,439
39		50	62		53	22		1,812	42	2,273
40		85	63		50	23		1,668	26	2,076
41		87	平成元年		73	24		1,389	30	1,658
42		104	2		71	25		1,280	25	1,619
43		106	3		81	26		1,168	34	1,396
44		112	4		70	27		1,053	38	1,250
45		117	5		69	28		987	17	1,243
						平成29年		965	26	1,162

(2) 市町村別発生状況及び人口1万人当たりの発生率

	発生件数		死者数		負傷者数		人口*	第一当居住地別	
		1万人当り		1万人当り		1万人当り		発生件数	1万人当り
岩美町	4	3.6	0	0.0	4	3.6	11,263	10	8.9
鳥取市	289	15.1	8	0.4	351	18.3	191,601	255	13.3
八頭町	18	11.0	1	0.6	22	13.4	16,421	23	14.0
若桜町	2	6.4	0	0.0	4	12.8	3,130	2	6.4
智頭町	6	8.7	2	2.9	5	7.2	6,905	6	8.7
湯梨浜町	39	23.9	2	1.2	50	30.7	16,298	29	17.8
三朝町	4	6.3	1	1.6	3	4.8	6,311	13	20.6
倉吉市	91	19.0	1	0.2	106	22.1	47,980	74	15.4
北栄町	32	22.0	0	0.0	44	30.3	14,542	25	17.2
琴浦町	18	10.6	0	0.0	20	11.8	17,010	23	13.5
大山町	20	12.5	1	0.6	26	16.2	16,024	20	12.5
日吉津村	11	31.4	0	0.0	13	37.2	3,499	2	5.7
米子市	329	22.1	6	0.4	392	26.4	148,720	244	16.4
南部町	12	11.1	3	2.8	9	8.4	10,767	17	15.8
境港市	64	19.1	1	0.3	78	23.3	33,431	59	17.6
伯耆町	16	14.7	0	0.0	19	17.5	10,881	29	26.7
江府町	3	10.4	0	0.0	4	13.8	2,891	6	20.8
日野町	5	16.1	0	0.0	8	25.8	3,101	7	22.6
日南町	2	4.5	0	0.0	4	9.0	4,458	8	17.9
合計	965	17.1	26	0.5	1,162	20.6	565,233	852	15.1

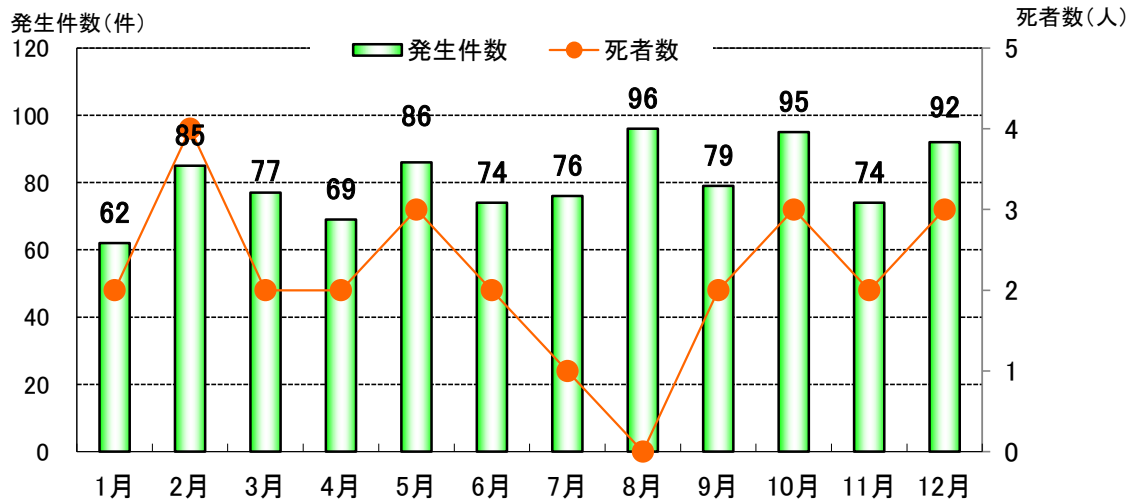
* 人口は、鳥取県地域振興部統計課資料「鳥取県年齢別推計人口(平成29年10月1日現在)」による。

県外者	103
不明	10
総計	965

(3) 月別発生状況

発生件数は8月が96件と最も多く、1月が62件と最も少ない。

死者数は2月が4人と最も多く、8月は死者0人であった。



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
発生件数	62	85	77	69	86	74	76	96	79	95	74	92	965
死者数	2	4	2	2	3	2	1		2	3	2	3	26
負傷者数	79	99	91	83	101	94	90	125	94	114	84	108	1,162

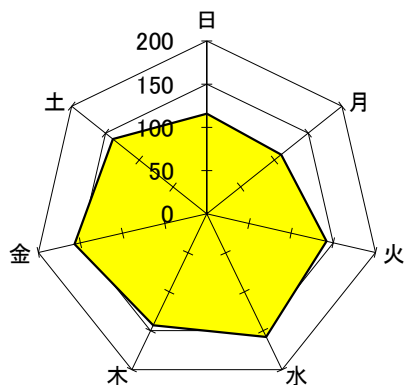
(4) 曜日別発生状況

発生件数は水曜日が158件と最も多く、月曜日が110件と最も少ない。

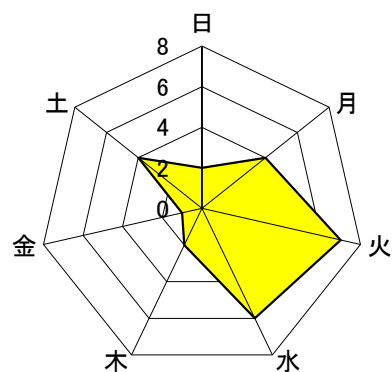
死者数は火曜日が7人と最も多く、金曜日が1人と最も少ない。

負傷者数は金曜日が190人と最も多く、月曜日が121人と最も少ない。

【曜日別発生件数】



【曜日別死者数】

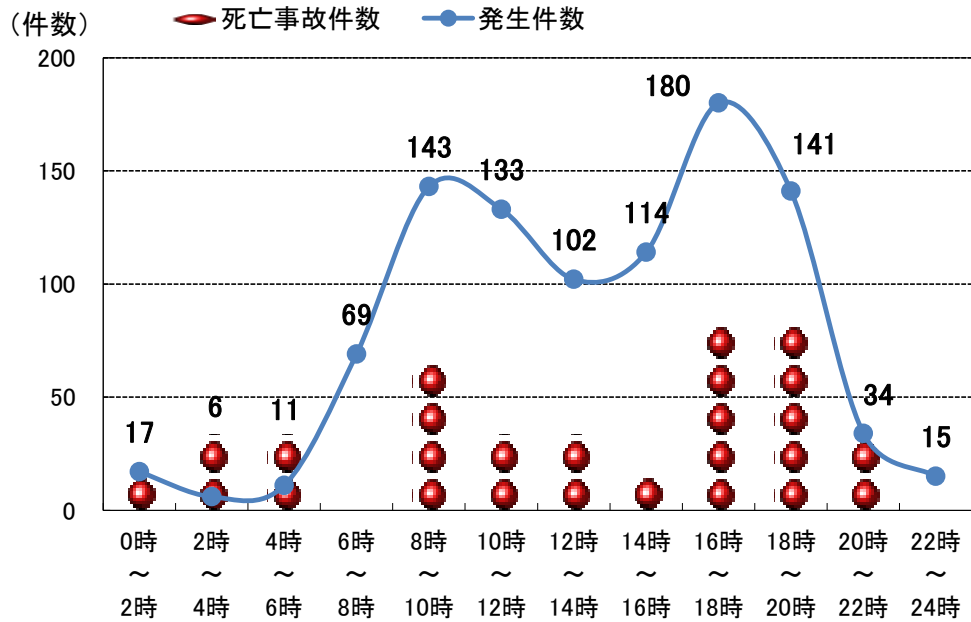


	日	月	火	水	木	金	土	合計
発生件数	116	110	142	158	143	157	139	965
死者数	2	4	7	6	2	1	4	26
負傷者数	163	121	154	188	163	190	183	1,162

(5) 時間別・昼夜別発生状況

ア 時間別

16時～18時が最も多い。

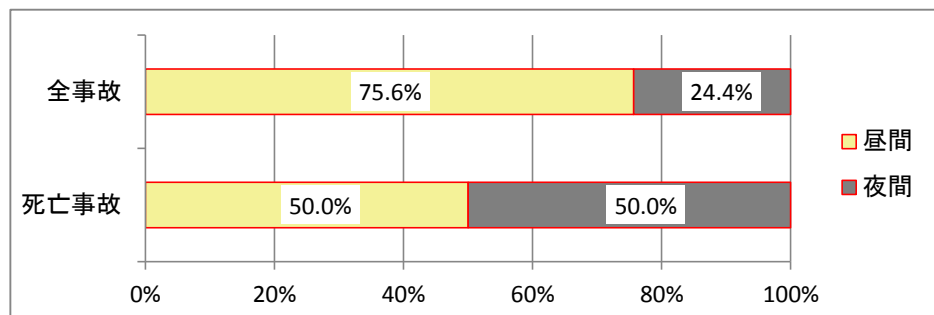


発生時間	0～2	2～4	4～6	6～8	8～10	10～12	12～14	14～16	16～18	18～20	20～22	22～24	合計
発生件数	17	6	11	69	143	133	102	114	180	141	34	15	965
死亡事故件数	1	2	2		4	2	2	1	5	5	2		26

イ 昼夜別

全事故の75.6%が昼間に発生した。

死亡事故は、昼間・夜間にそれぞれ13件発生した。

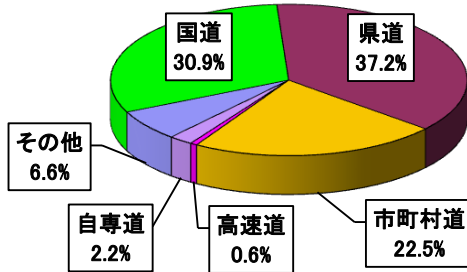


	昼間	夜間	合計
全事故件数	730	235	965
死亡事故件数	13	13	26

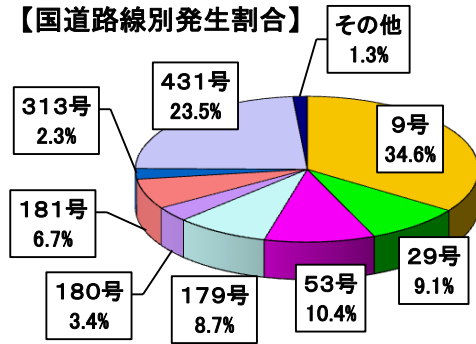
(6) 道路別発生状況

県道での発生が最も多く、国道では、国道9号が多い。

【道路別発生割合】



【国道路線別発生割合】



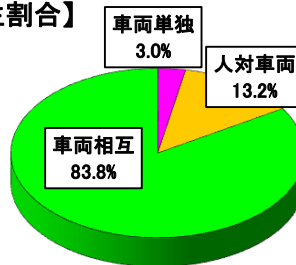
	国										計
	9号	29号	53号	179号	180号	181号	313号	431号	その他		
発生件数	103	27	31	26	10	20	7	70	4	298	

	高速道	自専道	県道			市町村道	その他	合計
			主要	一般	計			
発生件数	6	21	129	230	359	217	64	965

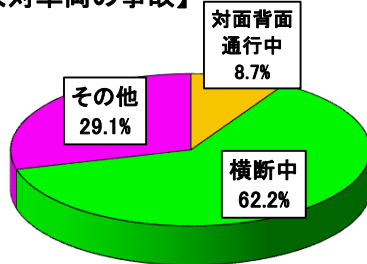
(7) 事故類型別発生状況

人対車両では横断中が多く、車両相互では追突が多い。

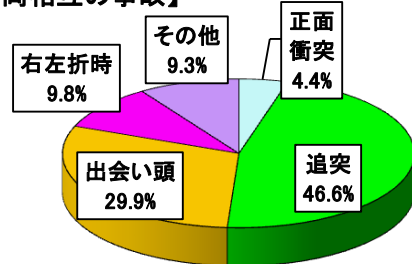
【類型別発生割合】



【人対車両の事故】



【車両相互の事故】

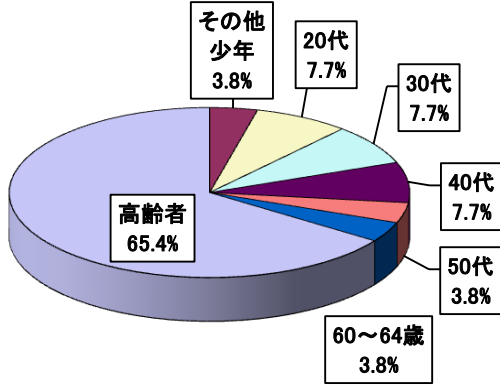


	人対車両			車両相互					車両単独		列車	合計
	対面背面通行中	横断中	その他	正面衝突	追突	出会い頭	右左折時	その他	工作物衝突	その他		
発生件数	11	79	37	36	377	242	79	75	12	17		965
総数	127			809					29			965

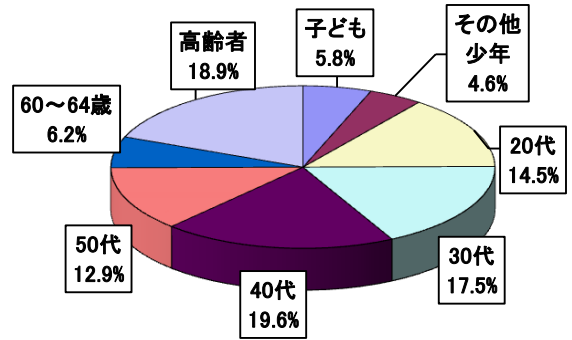
(8) 年齢層別死傷者数

死者数は高齢者の占める割合が高く、負傷者数は40代の占める割合が高い。

【年齢層別死者の割合】



【年齢層別負傷者の割合】



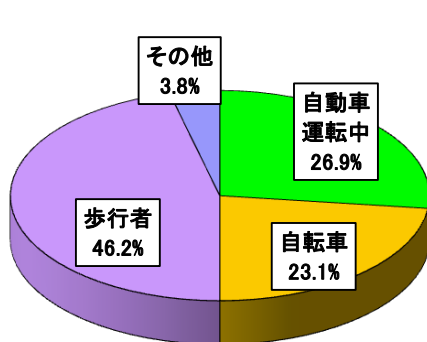
	子ども	その他少年	20代	30代	40代	50代	60~64歳	高年齢者	合計
死者数		1	2	2	2	1	1	17	26
負傷者数	67	53	169	203	228	150	72	220	1,162

※ 子どもは、中学生以下

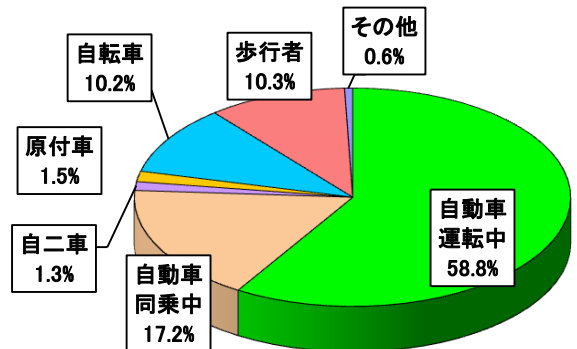
(9) 状態別死傷者数

死者数は歩行者の占める割合が高く、負傷者数は自動車運転中の割合が高い。

【状態別死者の割合】



【状態別負傷者の割合】



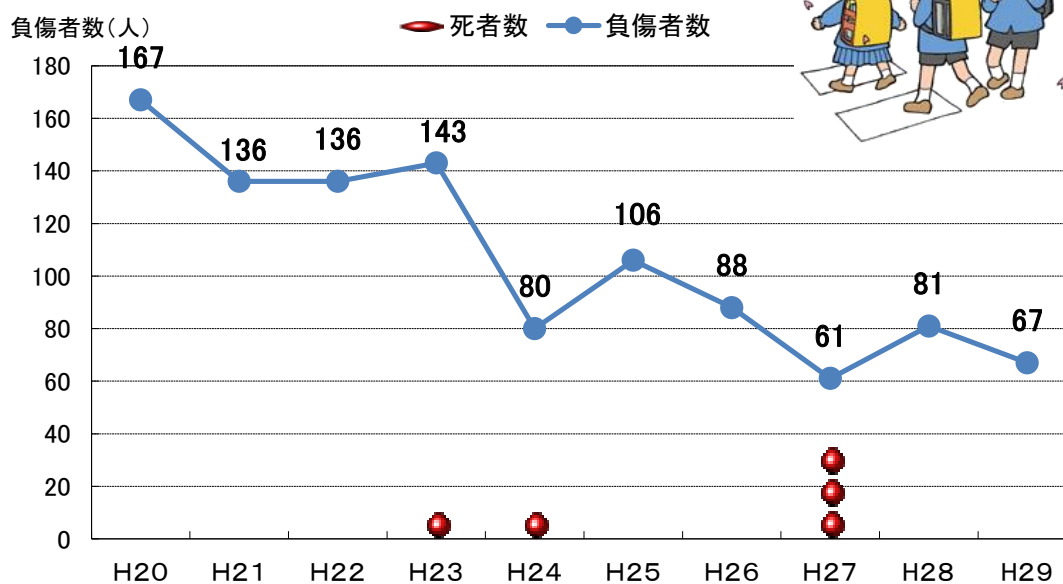
	自動車		自二車		原付車		自転車		歩行者	その他	合計
	運転	同乗	運転	同乗	運転	同乗	運転	同乗			
死者数	7						6		12	1	26
負傷者数	683	200	15		18		119		120	7	1,162

3 子どもの交通事故

(1) 子どもの交通事故の推移

負傷者数は、67人で前年より14人減少した。

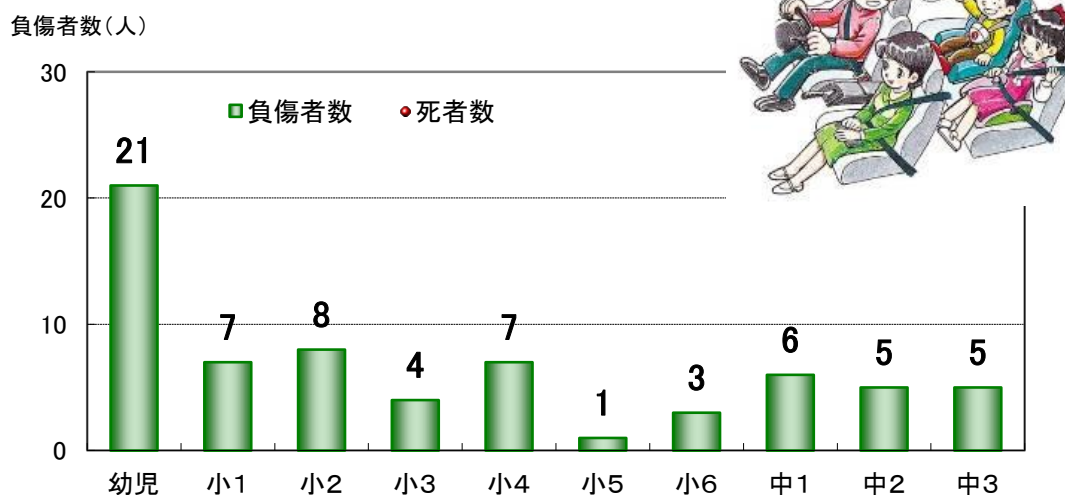
子どもが死亡する事故の発生はなかった。



死者数				1	1			3		
負傷者数	167	136	136	143	80	106	88	61	81	67

注：子どもとは、中学生以下

(2) 学齢別死傷者数

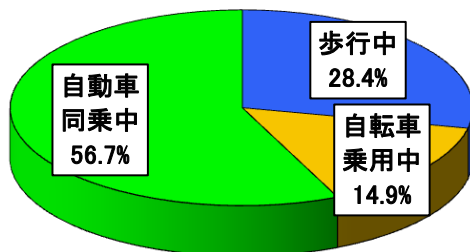


	幼児	小学生						中学生			合計
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	1年	2年	3年	
死者数											0
負傷者数	21	7	8	4	7	1	3	6	5	5	67

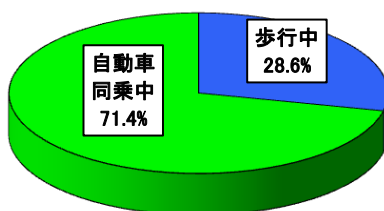
(3) 状態別死傷者数

自動車同乗中が全体の56.7%で高い。

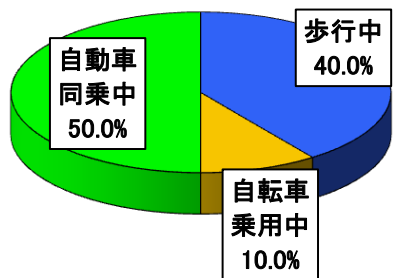
【状態別死傷者の割合】



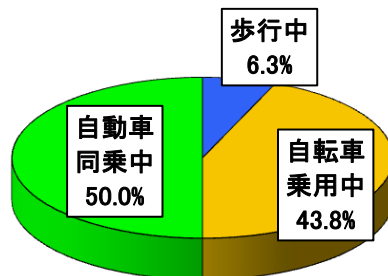
【幼児】



【小学生】



【中学生】



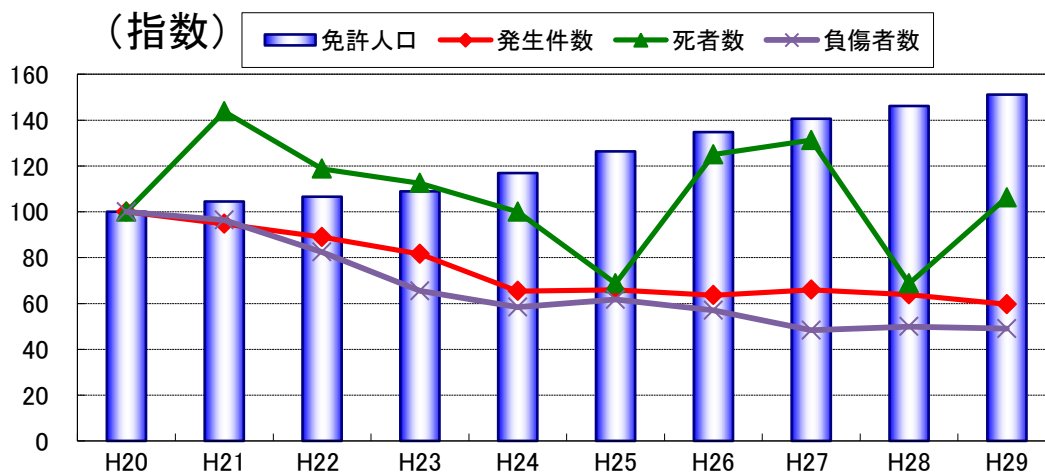
		歩行者	自転車		自動車		二輪車		その他	合計
			運転中	同乗中	運転中	同乗中	運転中	同乗中		
死者数	幼児									0
	小学1~3									0
	小学4~6									0
	中学生									0
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
負傷者数	幼児	6				15				21
	小学1~3	11				8				19
	小学4~6	1	3			7				11
	中学生	1	7			8				16
	計	19	10	0	0	38	0	0	0	67

4 高齢者の交通事故

(1) 高齢者の交通事故の推移

高齢者の死者数は平成28年より6人増加し、全死者に占める高齢者の割合は65.4%と高率であった。高齢者が第1当事者となった事故は前年より16件減少し、全事故に占める割合も前年比1.1ポイント減少した。

高齢者の免許人口は年々増加し、平成20年の約1.5倍となった。



※ 発生件数は高齢者が第1当事者の事故件数。指数は平成20年を100とする。

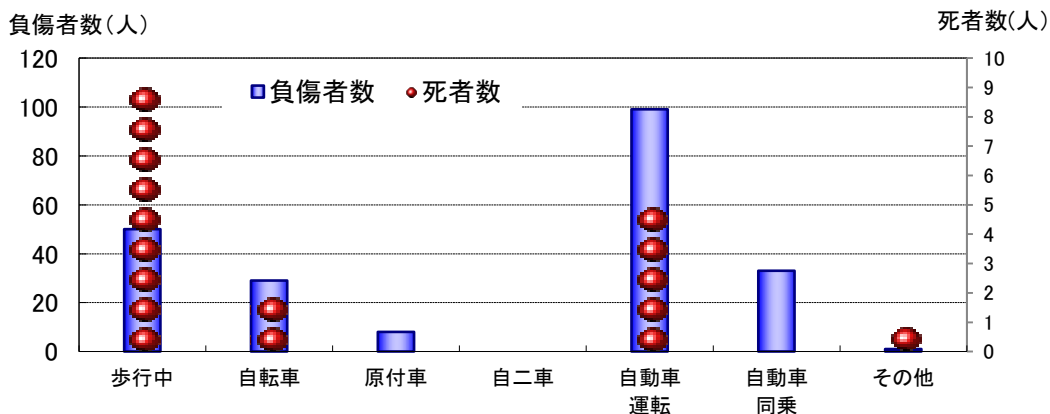
	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	
発生件数	379	359	337	309	248	250	241	250	242	226	
死者数	16	23	19	18	16	11	20	21	11	17	
負傷者数	449	433	370	294	262	277	256	217	224	220	
高齢者免許人口	64,029	66,881	68,218	69,711	74,822	80,882	86,272	90,002	93,560	96,748	
割合	発生件数	17.7%	18.4%	18.6%	18.5%	17.9%	19.5%	20.6%	23.7%	24.5%	23.4%
	死者数	53.3%	62.2%	45.2%	69.2%	53.3%	44.0%	58.8%	55.3%	64.7%	65.4%
	負傷者数	16.4%	17.8%	16.3%	14.2%	15.8%	17.1%	18.3%	17.4%	18.0%	18.9%

※ 割合は、全年齢に対する高齢者の割合

(2) 状態別死傷者数

高齢者の死者数は、歩行中が9人で最も多く52.9%を占める。

負傷者数は、自動車運転中が99人で最も多く45.0%を占める。

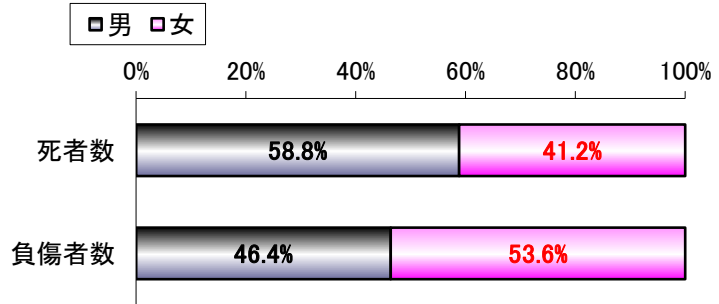


	歩行中	自転車乗車中	原付車乗車中	自二車乗車中	自動車運転中	自動車同乗中	その他	合計
死者数	9	2			5		1	17
構成率	52.9%	11.8%			29.4%		5.9%	100%
負傷者数	50	29	8		99	33	1	220
構成率	22.7%	13.2%	3.6%		45.0%	15.0%	0.5%	100%

(3) 男女別死傷者数

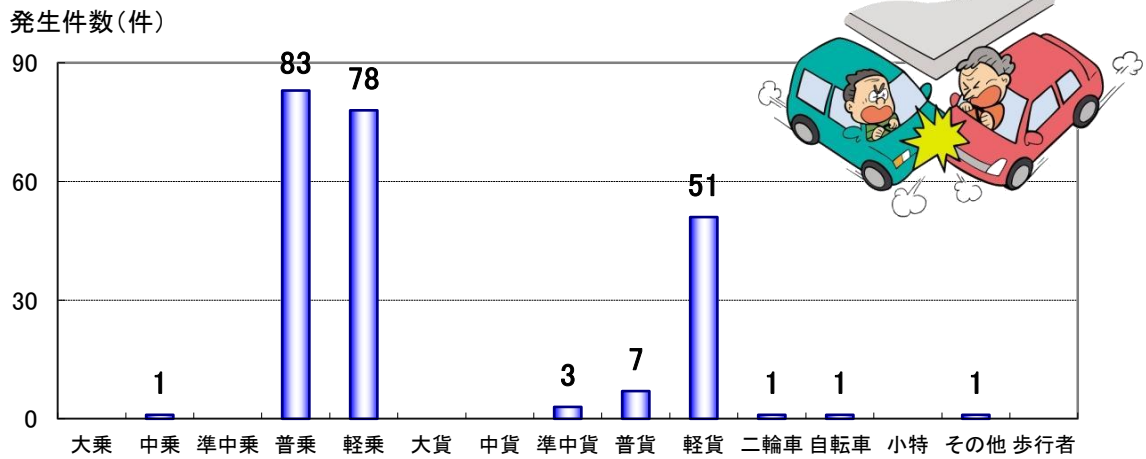
死者の割合は男性が高く、負傷者の割合は女性が高い。

		死者数	負傷者数
男		10	102
	構成率	58.8%	46.4%
女		7	118
	構成率	41.2%	53.6%
合計		17	220



(4) 高齢者(第1当)事故件数

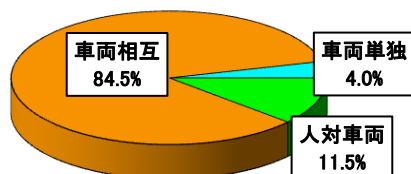
事故の車種別では、普通乗用が最も多く、男性が第1当事者となる割合が高い。
事故類型別では、車両相互事故の割合が高く、うち出会い頭事故が75件と最も多く発生した。



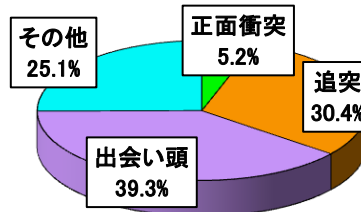
ア 第1当事者車種別・男女別

	大型乗用	中型乗用	準中型乗用	普通乗用	軽四乗用	大型貨物	中型貨物	準中型貨物	普通貨物	軽四貨物	自二車(含原付)	自転車	小特	その他	歩行者	合計
発生件数		1		83	78			3	7	51	1	1		1		226
男		1		54	43			3	7	39		1		1		149
女				29	35					12	1					77

イ 事故類型別



ウ 車両相互の種類

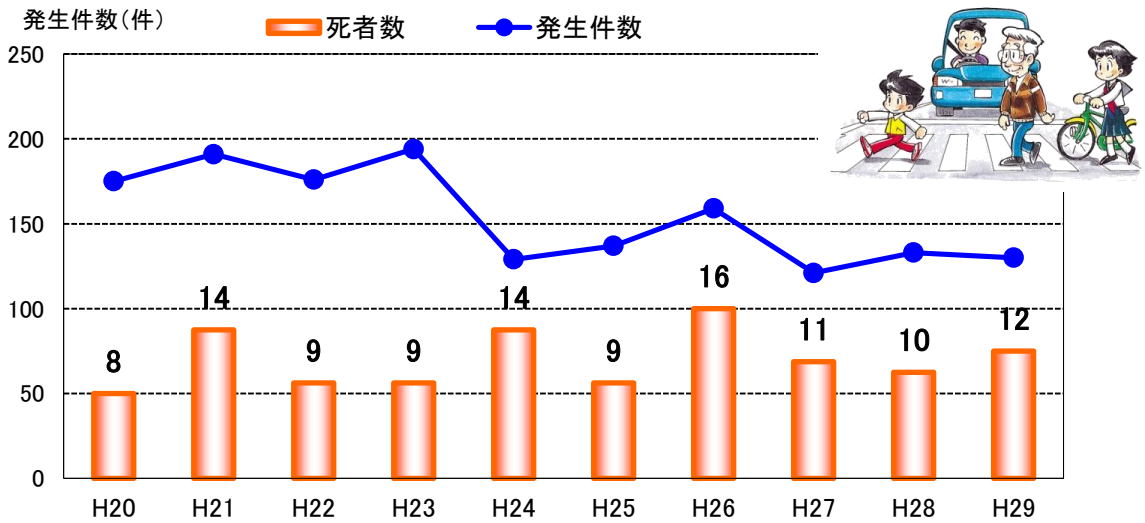


	人対車両		車両相互				単独	踏切	合計
	横断中	その他	正面衝突	追突	出会い頭	その他			
発生件数	15	11	10	58	75	48	9		226

5 歩行者の交通事故

(1) 歩行者の交通事故の推移

発生件数は130件で平成28年より3件減少したが、死者数は2人増加した。

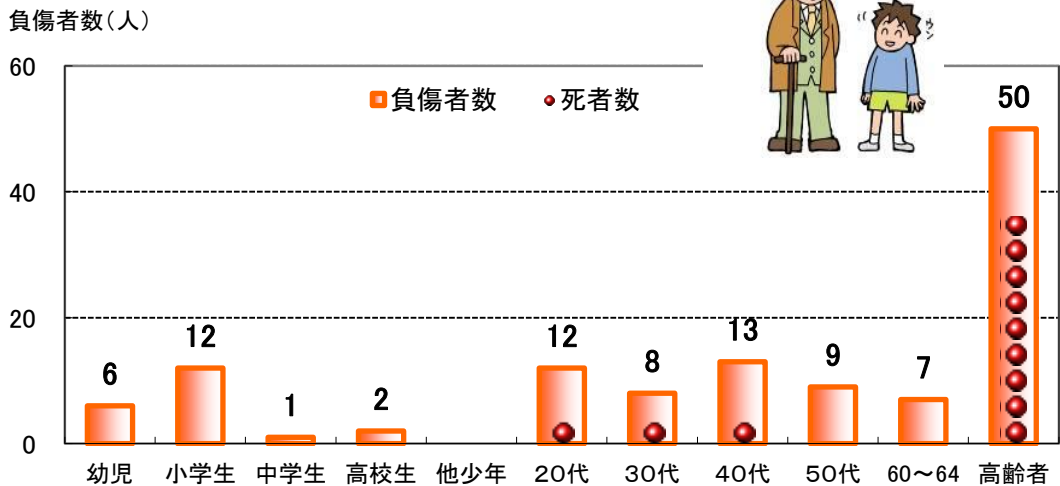


発生件数	175	191	176	194	129	137	159	121	133	130
死者数	8	14	9	9	14	9	16	11	10	12
負傷者数	174	182	173	190	116	129	148	113	133	120

※ 発生件数は、歩行者が当事者となった交通事故の件数
 ※ 死者数、負傷者数は歩行者の人数

(2) 年齢層別死傷者数

死者数・負傷者数とも高齢者が多い

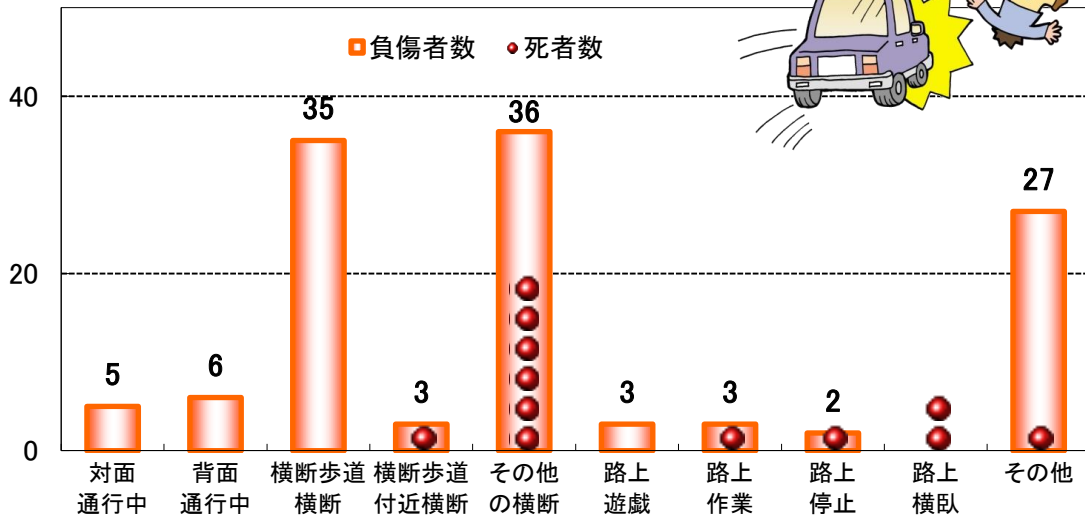


	幼児	小学生	中学生	高校生	他少年	20代	30代	40代	50代	60~64	高齢者	計
合計	6	12	1	2		13	9	14	9	7	59	132
死者数						1	1	1			9	12
負傷者数	6	12	1	2		12	8	13	9	7	50	120

(3) 事故類型別発生件数・死傷者数

発生件数、負傷者数とも横断中の事故が多い。

負傷者数(人)

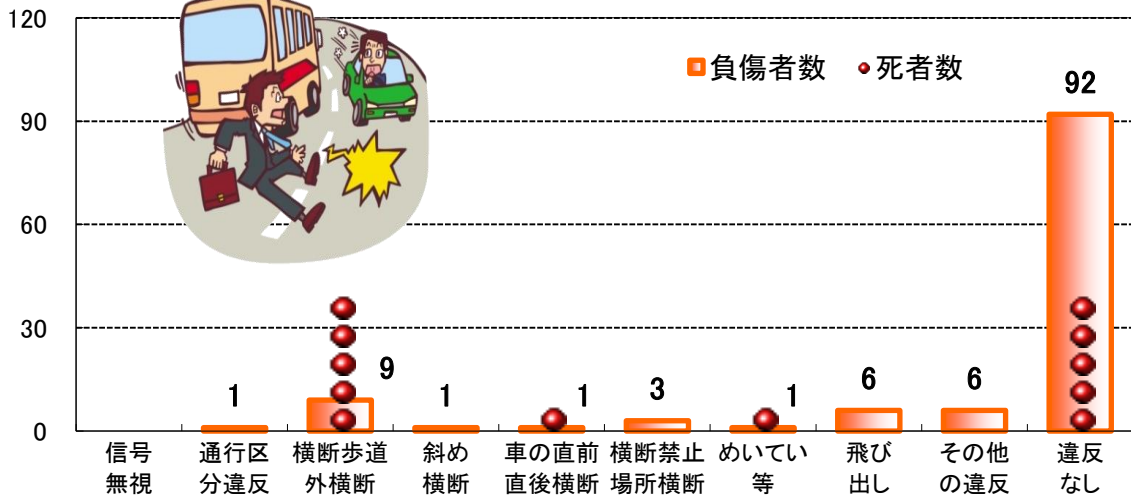


	対面通行中	背面通行中	横断歩道横断中	横断歩道付近横断	その他の横断	路上遊戯	路上作業	路上停止	路上横臥	その他	合計
発生件数	5	6	34	4	41	3	4	3	2	28	130
死者数				1	6		1	1	2	1	12
負傷者数	5	6	35	3	36	3	3	2		27	120

(4) 歩行者の違反別死傷者数

死傷者の26.5%に何らかの交通違反があり、違反別では横断歩道外横断の違反が多い。

負傷者数(人)



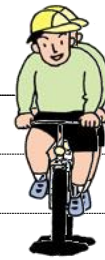
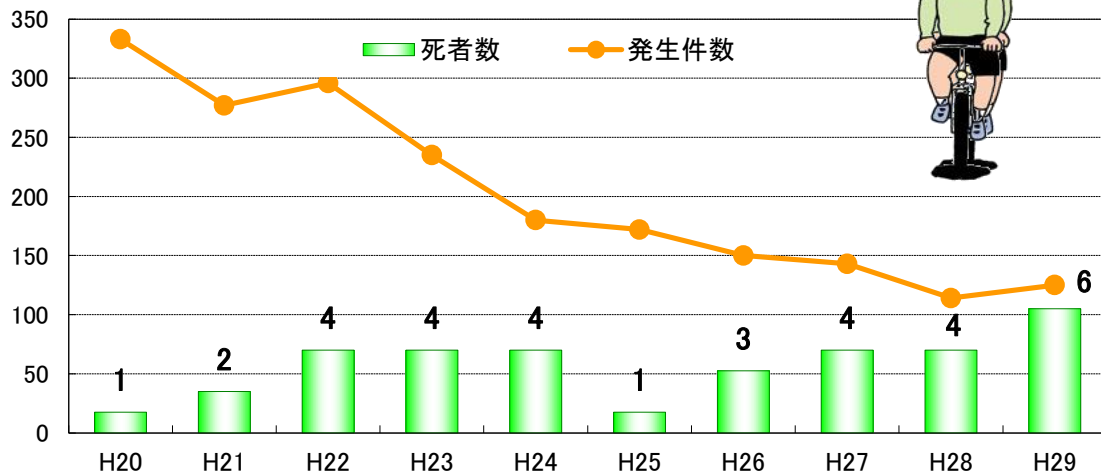
	信号無視	通行区分違反	横断歩道外横断	斜め横断	車の直前直後横断	横断禁止場所横断	めいてい等	飛び出し	その他の違反	違反なし	合計
死者数			5		1		1			5	12
負傷者数		1	9	1	1	3	1	6	6	92	120

6 自転車の交通事故

(1) 自転車の交通事故の推移

発生件数、死者数とも、平成28年より増加した。

発生件数(件)



発生件数	333	277	296	235	180	172	150	143	114	125
死者数	1	2	4	4	4	1	3	4	4	6
負傷者数	336	272	291	233	177	169	147	139	110	119

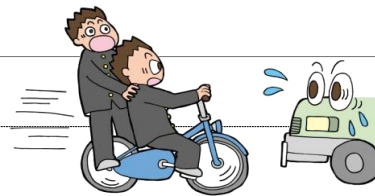
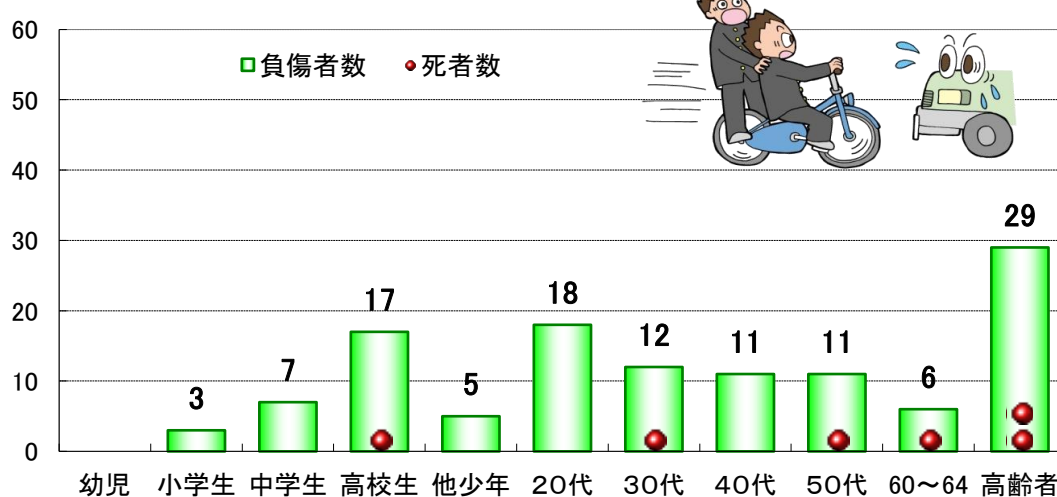
※ 発生件数は自転車当事者となった交通事故の件数

※ 死者数、負傷者数は自転車乗車中の人数

(2) 年齢層別死傷者数

死傷者数は、高齢者が最も多く、次いで高校生・20代が多い。

負傷者数(人)

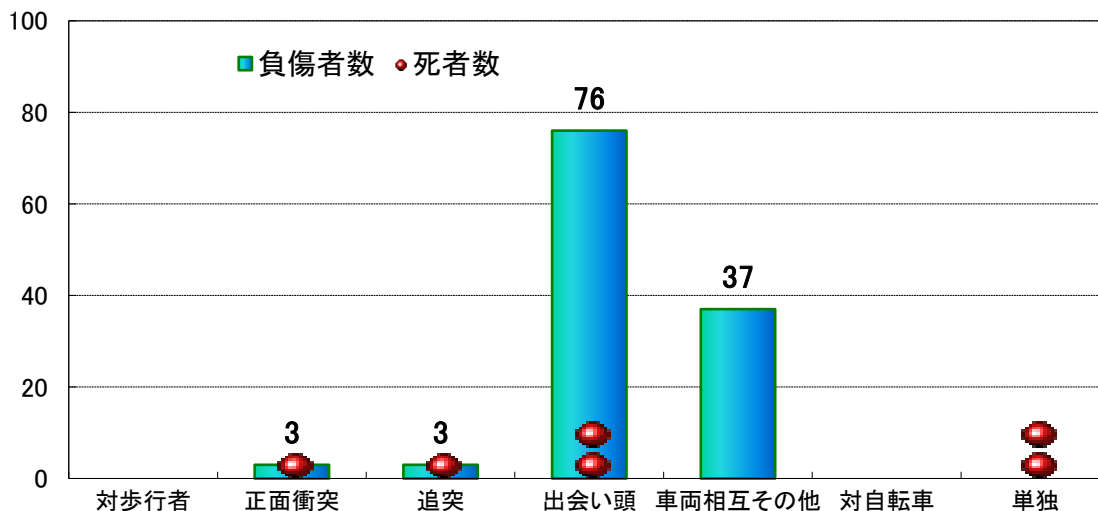


	幼児	小学生	中学生	高校生	他少年	20代	30代	40代	50代	60~64	高齢者	合計
合計		3	7	18	5	18	13	11	12	7	31	125
死者数				1			1		1	1	2	6
負傷者数		3	7	17	5	18	12	11	11	6	29	119

(3) 事故類型別発生件数・死傷者数

発生件数、負傷者数とも出会い頭が最も多く、半数以上を占めている。

負傷者数(人)

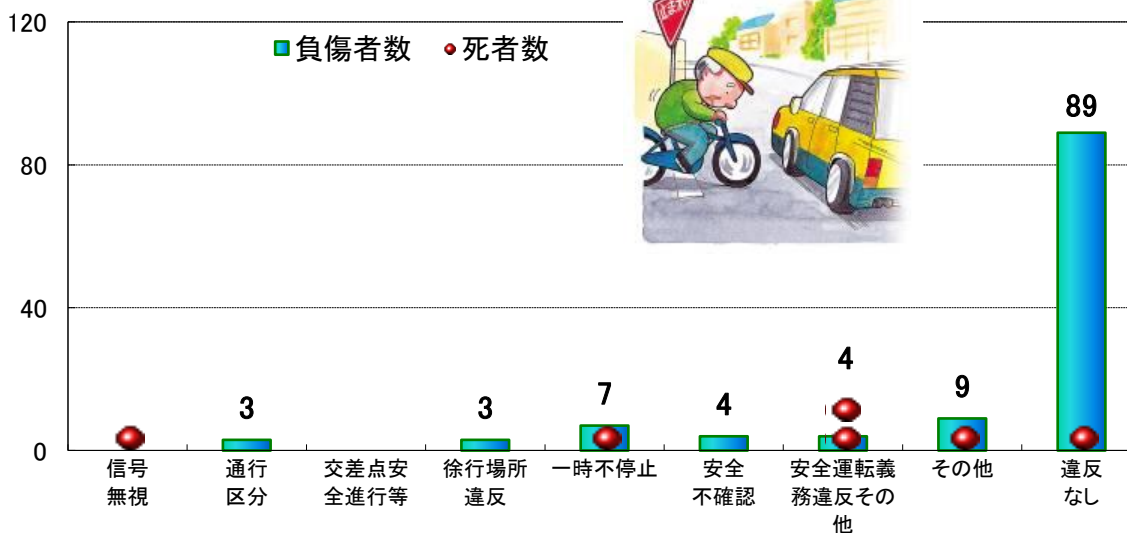


	対歩行者	対車両事故					単独	合計	うち 同乗中
		正面衝突	追突	出会い頭	対自転車	その他			
発生件数		4	4	78		37	2	125	
死者数		1	1	2			2	6	
負傷者数		3	3	76		37		119	

(4) 自転車の違反別死傷者数

自転車の28.0%に違反があり、一時不停止が多い。

負傷者数(人)



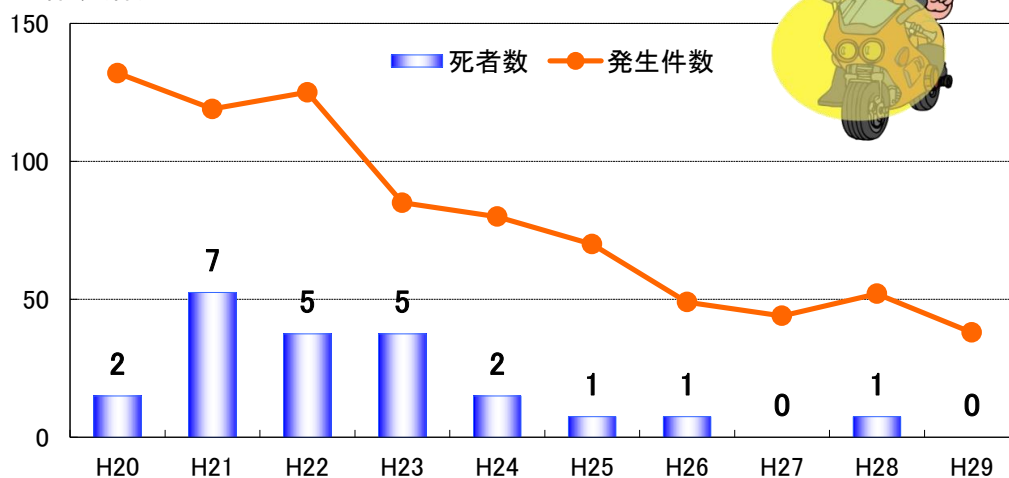
	信号無視	通行区分	交差点安全進行等	徐行場所違反	一時不停止	安全運転義務		その他	計	違反なし	合計
						安全不確認	その他				
死者数	1				1		2	1	5	1	6
負傷者数		3		3	7	4	4	9	30	89	119

7 二輪車(自動二輪・原付)の交通事故

(1) 二輪車の交通事故の推移

発生件数は平成28年より大幅に減少し、死亡事故の発生はなかった。

発生件数(件)



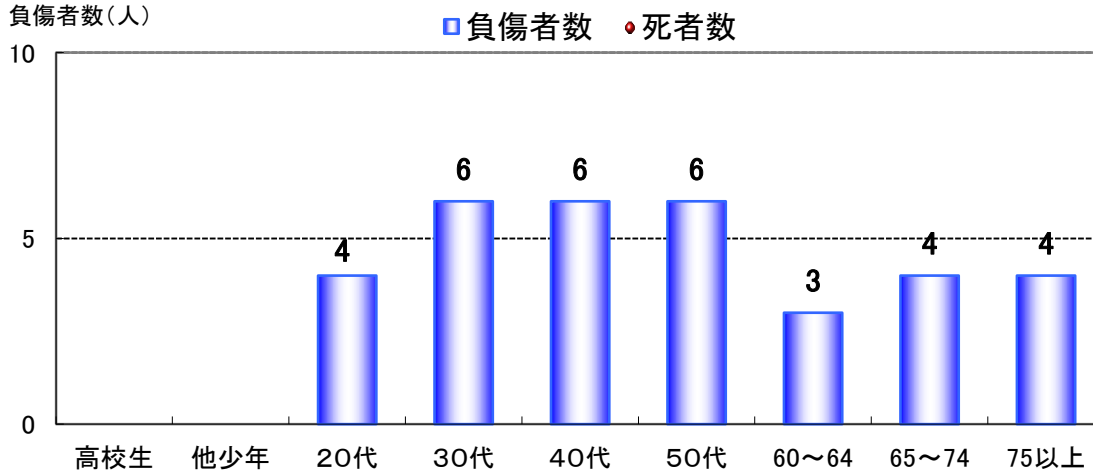
発生件数	132	119	125	85	80	70	49	44	52	38
死者数	2	7	5	5	2	1	1		1	
負傷者数	122	108	118	77	78	66	44	37	46	33

※ 発生件数は二輪車事故の件数、死者数、負傷者数は二輪車乗用中の人数

(2) 年齢層別死傷者数(二輪車乗車中)

負傷者数は、30代、40代、50代が最も多い。

負傷者数(人)



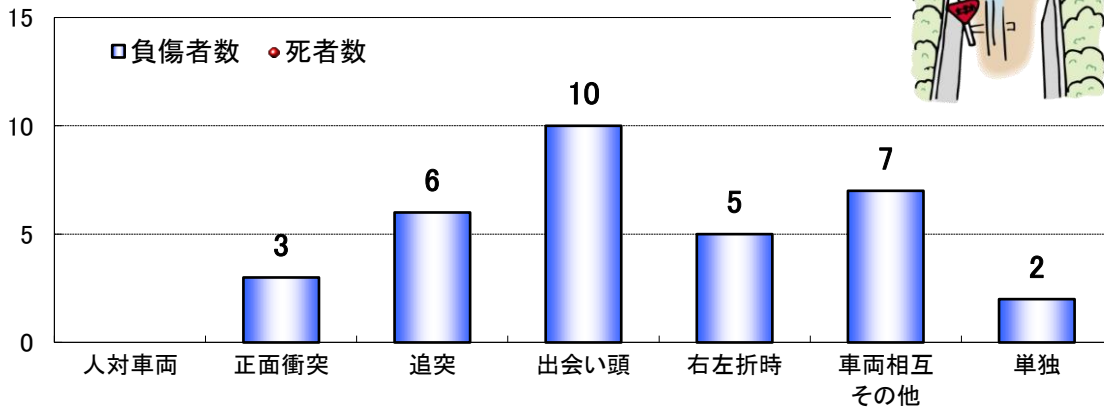
	高校生	その他の少年	20代	30代	40代	50代	60~64	高齢者		合計
								65~74	75歳以上	
合計			4	6	6	6	3	4	4	33
死者数										
負傷者数			4	6	6	6	3	4	4	33

(3) 事故類型別発生件数・死傷者数

出会い頭の事故が多い。



負傷者数(人)



	人対車両	車両相互					単独	踏切	合計	うち同乗中
		正面衝突	追突	出会い頭	右左折時	その他				
発生件数	1	3	9	11	5	7	2	38		
死者数										
負傷者数		3	6	10	5	7	2	33		

※ 発生件数は二輪車事故が当事者となった事故の件数

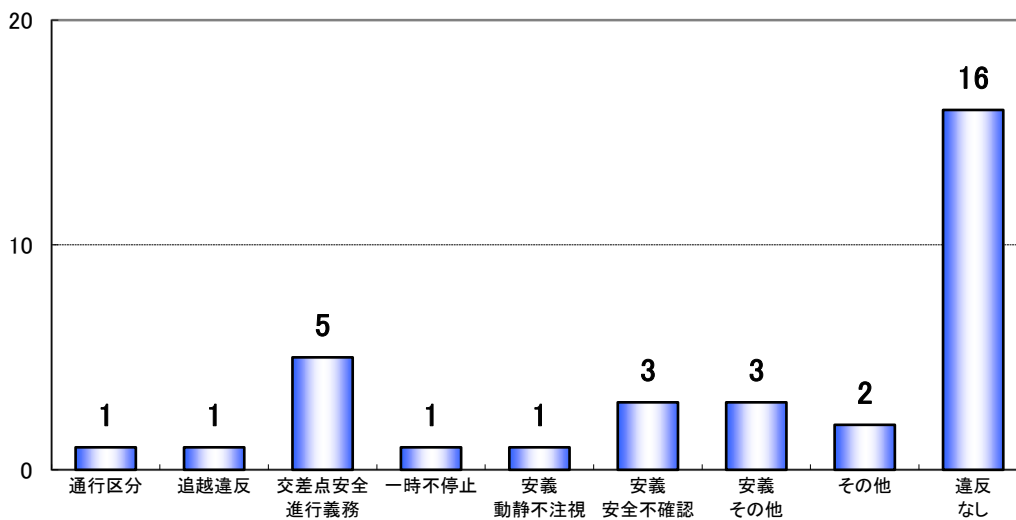
※ 死者数、負傷者数は二輪車乗用中の人数

(4) 二輪車の違反別死傷者数

二輪車の51.5%に違反があり、交差点安全進行義務違反が多い。

負傷者数(人)

□負傷者数 ●死者数



	通行区分	追越違反	交差点安全進行義務	一時不停止徐行違反	安全運転義務			その他	違反なし	合計
					動静不注視	安全不確認	安義その他			
死者数										
負傷者数	1	1	5	1	1	3	3	2	16	33

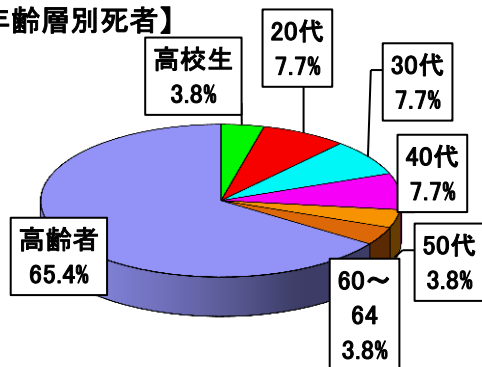
8 交通死亡事故発生状況

(1) 年齢層別・状態別死者数

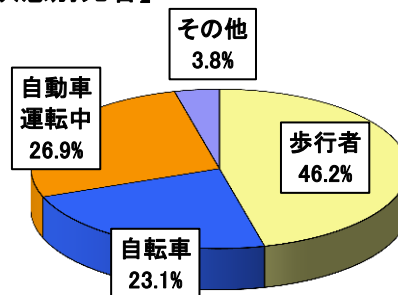
年齢層別では、高齢者が17人(65.4%)で最も多い。

状態別では、歩行者が12人(46.2%)で最も多く、次いで自動車運転中となっている。

【年齢層別死者】



【状態別死者】

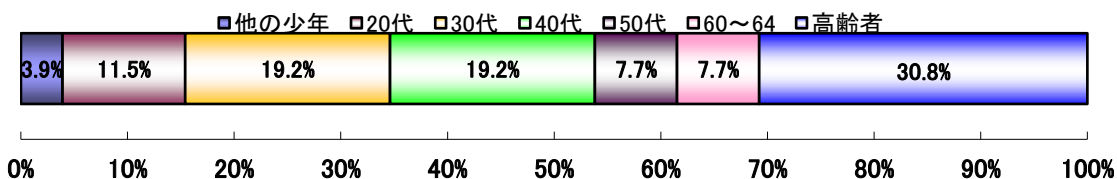


	子ども	高校生	他の少年	20代	30代	40代	50代	60~64歳	高齢者	合計
歩行者				1	1	1			9	12
自転車		1			1		1	1	2	6
自二・原付										
自動車運転中				1		1			5	7
自動車同乗中										
その他									1	1
合計		1		2	2	2	1	1	17	26

(2) 第1当事者の年齢層別・状態別件数

年齢層別では、高齢者が8件と最も多い。

当事者種別では、自動車運転中が88.5%を占める。

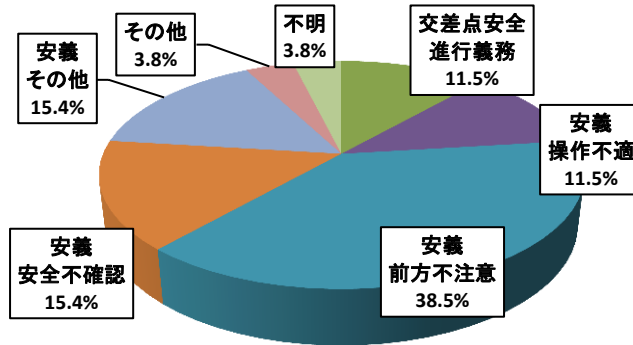


	高校生	他の少年	20代	30代	40代	50代	60~64	高齢者	合計
自動車		1	3	5	5	1	2	6	23
自二・原付									
自転車								1	1
歩行者									
その他						1		1	2
合計		1	3	5	5	2	2	8	26

※ 他の少年とは、19歳以下で子ども、高校生を除いたもの

(3) 第1当事者の違反別件数

前方不注意が10件(38.5%)で最も多い。



	交差点安全進行義務	安全運転義務				その他	不明	合計
		操作不適	前方不注意	安全不確認	安義その他			
件数	3	3	10	4	4	1	1	26

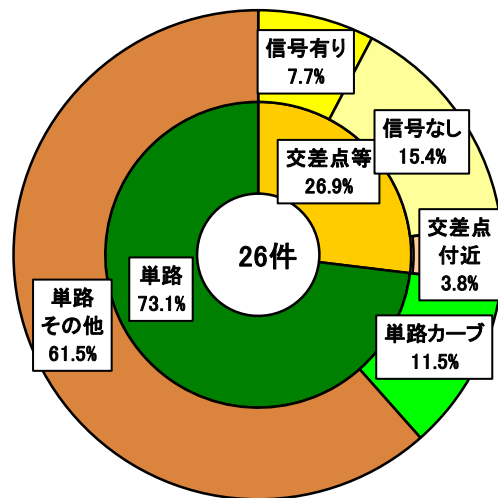
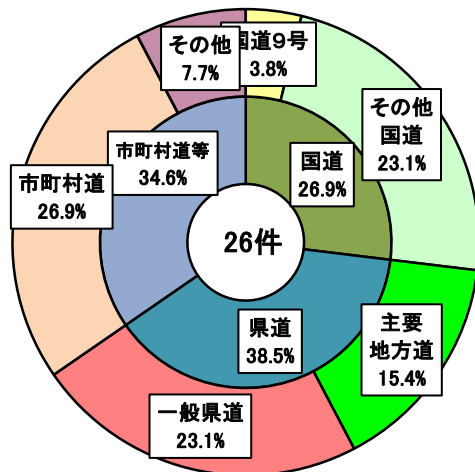
(4) 路線別・道路形状別件数

路線別では、県道が38.5%で最も高い。

道路形状別では、単路での事故が73.1%で最も高い。

【路線別死亡事故】

【道路形状別死亡事故】



	高速道	自専道	国道				県道	市町村道	その他	合計
			9号	29号	53号	その他				
件数			1		1	5	10	7	2	26

	交差点等				単路				踏切	その他	合計
	信号有り	信号なし	交差点付近	計	トンネル	カーブ	その他	計			
件数	2	4	1	7		3	16	19			26

平成29年版
図解交通年鑑

鳥取県警察本部交通部交通企画課

鳥取市東町1丁目271 TEL 0857-23-0110
